

彩小ふれあいだより

平成23年1月26日

広島市立彩が丘小学校

校長 竹川 智子

爺遊連～5年生もちつき会



「子ども達に豊かな体験をさせてやりたい」そんな思いから、爺遊連の皆さまにより、1月21日（金）3・4校時、本校中庭において「餅つき会」が行われました。今年で3回目になりました。5年生は、総合的な学習の時間において、学校田で米作りに取り組んできました。今年は、夏の猛暑の影響で収穫も激減しています。杉山さんが、昨年に続き、今年もち米をたくさん寄贈してくださいました。ありがとうございます。

子どもたちより1時間ほど早い9時半、13名の爺遊連の皆さんがそろいのオレンジジャンパーで集ってくださいました。公民館のもちつき道具、まきや窯の手配などすべてをしてくださり、本当に助かっています。月曜日の豪雪！が中庭には一部分まだ根雪で残っています。滑ってはいけないと水をかけて雪を溶かしたり、窯に火をくべたり、もち米を蒸す準備も着々と始まりました。さすが手際のすばらしいことです。

10時半、子どもたちも集合。杉山さんから説明の後、いよいよもちつきです。「ヨイショ！ヨイショ！」中庭に子どもたちの大きなかけ声が響き渡りました。全員が少しずつ餅をついたり、つき上がった熱々のもちを丸めたりしました。つきたての餅のあったかさやわかさに、おいしいおいしいとみんなでおもちをほおばりました。

薪で餅米を蒸す釜戸の強い炎、力強く杵を下ろす爺遊連の皆さまの熟練した技、丸めるときの手際よさ、熱々のおもちの感触、ほおばった時のおもちのやわらかさ、餅米をとぐときの水の冷たさ等など。五感を通したこの体験はきっと心の糧になることでしょう。このように、彩が丘まちぐるみの教育により子ども達は健やかに大きく成長していきます。地域の皆さまの学習支援で子どもたちの学習は広がり深まります。次は1年生が生活科「昔の遊び」で彩の会の皆さまにお世話になります。ありがとうございます。

